

災害が起きた時のごみの分別と出し方 (part1)

災害で出たごみってどうすればいいの？



STEP1 生活ごみと災害ごみ(片付けごみ)を分けましょう

生活ごみと災害ごみを分けることで生活環境の悪化を防ぎます。生活ごみの中には、食べ残しなどの生ごみが多く含まれているため、処理が遅れると悪臭や害虫発生の原因になる恐れがあります。

STEP2 災害ごみを分けましょう

分別をすることで処理期間が短くなり、また、ガスボンベなどによる火災への危険をおさえることができます。

STEP3 生活ごみはごみ集積所へ災害ごみは仮置場に出しましょう

仮置場の設置場所については、災害の状況に応じて市民の皆さまにお知らせします。

生活ごみってどうやって出せばいいの？



燃やせるごみ

(衛生上、家に置けないもの)



生ごみ 紙おむつ など

燃やせないごみ



資源



ごみ集積所に**通常のルール**で出してください。
(被災状況によっては、予定どおり収集できない場合があります。)

※注意 **災害ごみはごみ集積所に
出さないでください。**



災害時は、災害ごみの収集を優先する場合があります。市から収集についてお知らせしますので、自宅で保管してください。

粗大ごみ、資源ごみ、有害ごみ、危険ごみについても、自宅で保管してください。収集開始後は、通常のルールで出してください。

災害ごみ(片付けごみ)ってどうやって出せばいいの？



災害ごみ

(災害により壊れたもの)



可燃物



廃家電等



がれき類

※写真出典：災害廃棄物対策フォトチャンネル

仮置場(市指定場所)

市が災害ごみを持ち込むための**仮置場を指定**しますので、分別して出してください。

大量の片づけごみが道路などにあふれると、消防車や救急車、ごみ収集車などの通行の妨げになります。

指定された仮置場以外に出さないようにしてください。



※道路上には出さない。

【分別品目】

- ・可燃物・不燃物・がれき類(コンクリート殻等)
- ・金属くず・木くず・畳・廃家電などの品目

※注意 仮置場は限られたスペースですので、**便乗ごみ(災害とは関係ないごみ)**を持ち込まないでください。

災害廃棄物を片付けるときは

- 帽子orヘルメット
- 防塵マスク
- 暑くても長袖
- 長ズボン
- 長ぐつ
- ゴーグル
- タオルやてぬぐい
- 厚手で長めのゴム手袋
- 水筒
- 目や手の洗える水がベスト



part2では仮置場の役割や日ごろ備えておきたいことなどを説明するよ!

